

企画展

幕末維新期の

郷土史話

会期

令和2年

10/17

土

令和3年

1/31

日

【開館時間】平日午前10時～午後6時30分 土・日・祝午前10時～午後5時
【休館日】月曜日（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日、年末年始（12/28～1/4）



I 岩井で斬られた
尊攘志士たち
元治甲子 天狗騒動

II 戊辰戦争 岩井の戦い
旧幕府軍と新政府軍の戦闘

III 西南戦争への従軍
遺族が守り伝える先祖の記憶

IV 幕末維新期の郷土人
金久保陶庵 間中雲颯 間中節齋



岩井で斬られた尊攘志士たち

元治甲子 天狗騒動



尊攘志士たちが眠る墓（回天神社 水戸市）

幕末の動乱を経て明治維新に至る時代、日本各地では語り尽くせぬほどの騒擾事件や戦争が勃発し、その余波は、関東・下総の一地方である現在の坂東市にも波及しました。元治元年(1864)の天狗騒動では尊王攘夷を志した若き志士たちが岩井の地でその命を散らし、慶応4年(1868)の戊辰戦争では新政府軍と旧幕府軍が岩井で戦った所謂「岩井戦争」が発生しています。さらに明治維新を迎えても、明治10年(1877)の西南戦争では郷土出身の若者たちが従軍し、多くの戦死者を出しました。こうした歴史的事実は150年以上が経った現在では人々の記憶からも遠ざかり、わずかに遺族たちが保管する遺品や市内に残る石碑などがその事実を伝えるのみとなっています。今回の展覧会では、幕末維新时期に起こった多くの事件とともに、同時期に活躍した郷土の人々の事績を展示し、幕末から明治初期に起きた郷土の知られざる出来事を紹介します。ぜひ、ご観覧下さい。

戊辰戦争 岩井の戦い 旧幕府軍と新政府軍の戦闘



岩井戦争の際、高声寺に陣取った旧幕軍によって監禁された間中雲帆と中山元成
〈秋山桑人画「中山茶顛翁一代絵巻」より〉



岩井戦争で使われた砲弾（上）と薩摩軍が残っていた茶釜

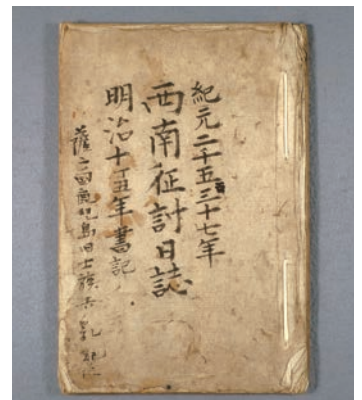
西南戦争への従軍 遺族が守り伝える先祖の記憶



西南戦争に出征した郷土出身の兵士
（原版は湿板写真）



横浜港へ集結した政府軍兵士
〈神奈川県立歴史博物館所蔵〉



西南戦争の戦況を記した「西南征討日誌」
〈坂東郷土館ミュージズ所蔵〉